

安保法制違憲訴訟の裁判官にはがきを出そう!

2016年4月26日に東京地裁に提起しました安保法制違憲訴訟は、国賠、差止めともに、控訴審が始まっています。

同様の訴訟は、全国22の地域で、25の裁判が提起されていますが、そのうち約半数の地裁判決がだされ、高裁の判決も出てきています。

予想していたことではあるのですが、これまでに出了された判決は、ことごとく憲法判断から逃げるものでした。

裁判官が勇気をもって違憲判断をするためには、多くの国民・市民の声を裁判官に届ける必要があります。

ぜひ、裁判官宛のはがきを出す活動に、ご協力ください。

このハガキを用いて、記載の文言のまま出していただくことももちろん歓迎ですが、ご自分の言葉を伝えたい方は、ぜひ、一言添えて、あるいは下記の裁判官あてに、別途ハガキを書いて送ってください。

このハガキを活用される方は、お手数ですが、63円切手を貼って、裏面に住所とお名前を明記の上、投函してください。

コロナでいろいろなことができなくなっていますが、いまこそ、一人ひとりができることを誠実に積み重ねて行きましょう!

郵便はがき

100-8933

63円切手を貼ってください

郵便はがき

100-8933

63円切手を貼ってください

東京都千代田区霞が関1丁目1-4

東京高等裁判所 第10民事部

裁判官 高橋 譲 様

裁判官 山口 均 様

裁判官 菅家 忠行 様

東京都千代田区霞が関1丁目1-4

東京高等裁判所 第2民事部

裁判官 白石 史子 様

裁判官 湯川 克彦 様

裁判官 浅井 憲 様

さらにひと言

.....
.....
.....
.....

さらにひと言

.....
.....
.....
.....



※ぼうごなつこさんの許可を得て掲載しています。

覚えていますか？

2015年の夏、わたしたちは国会の前に集まって、必死の思いで「安保法案反対！」と口々に叫び、声をからしておりました。

国会に呼ばれた憲法学者は、自民党から呼ばれた学者も含めて「安保法制は違憲」と証言しました。

左の4コマ漫画は、ぼうごなつこさんが、あの当時描かれたものです。小学生が素直な心で見れば「違憲」である法律を、国会は数の力で制定してしまいました。裁判官にもぜひ、その良心に従って、素直な心で、憲法を護るための仕事をして欲しいと思います。

そうは言っても、大人はいろいろあって、いろいろ考えすぎて、もしかすると決断ができないのかもしれませんが。

今こそ、われわれ国民・市民が、裁判官の背中を押すときです。

裁判官にハガキをだしましょう！

東京高等裁判所 第2民事部
裁判官 白石史子様 湯川克彦様 浅井憲様

安保法制違憲訴訟の裁判をご担当いただきありがとうございます。ありがとうございます。

わたしたちはこの裁判の原告及び支援者です。

今、ご担当いただいている裁判の地裁判決もそうでしたが、これまでに全国各地で出されたこの裁判の判決は、ことごとく、憲法判断から逃げるものでした。

憲法について、裁判官に改めてお伝えするまでもないことですが、わたしたちは「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起る」のではないかと危惧しています。

政府は、閣議決定をもって集团的自衛権を認め、立憲主義を踏みにじる形で、国会で強行採決しました。わたしたちは、主権者として、このような悪行を黙って見過ごすことはできません。わたしたちは、権利の上に怠惰に眠ることが、わたしたちの将来に破滅的な厄災をもたらすことを経験した国の主権者として、この国の憲法を守るために、裁判所が、憲法判断をしてくださることを切に望んでおります。わたしたち国民・市民の現在と将来のために、裁判所のあるべき姿を示してください。

住所 _____

氏名 _____

東京高等裁判所 第10民事部
裁判官 高橋讓様 山口均様 菅家忠行様

安保法制違憲訴訟の差止めの裁判をご担当いただきありがとうございます。ありがとうございます。

わたしたちはこの裁判の原告及び支援者です。

今、ご担当いただいている裁判の地裁判決もそうでしたが、これまでに全国各地で出されたこの裁判の判決は、ことごとく、憲法判断から逃げるものでした。

憲法について、裁判官に改めてお伝えするまでもないことですが、わたしたちは「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起る」のではないかと危惧しています。

政府は、閣議決定をもって集团的自衛権を認め、立憲主義を踏みにじる形で、国会で強行採決しました。わたしたちは、主権者として、このような悪行を黙って見過ごすことはできません。わたしたちは、権利の上に怠惰に眠ることが、わたしたちの将来に破滅的な厄災をもたらすことを経験した国の主権者として、この国の憲法を守るために、裁判所が、憲法判断をしてくださることを切に望んでおります。わたしたち国民・市民の現在と将来のために、裁判所のあるべき姿を示してください。

住所 _____

氏名 _____